

萩原井泉水 **自由律俳句のリーダーとなって尾崎放哉・種田山頭火を育て、のち評論・随筆家として長く活動した。**

おぎわらせいせんすい

秩父事件・1884 = 東京芝区神明町で、祖父の代に越後高田を出奔してきた雑貨商の次男に生まれる。幼名幾太郎。

帝国憲法発布1889 = 5歳 :

郡司千島探検1893 = **9歳** :

日清戦争始・1894 = 10歳 :

白馬会・1896 = 12歳 : 麻布中学に入学の頃から、**俳句を作り始め**,

正則中学,

教科書疑獄・1902 = **18歳** :

第一高等学校を経て,

日露戦争終・1905 = 21歳 :

アヲヲ 創刊・1908 = 24歳 : 東京帝大文学部言語学科を卒業。大学院に進む。

伊藤博文暗殺1909 = 25歳 : **{東京時事新報}の俳壇の選者となり**,

韓国併合・1910 = 26歳 : 翻訳「ゲエテ言行録」を処女出版。この頃、**河東碧梧桐らの新傾向俳句運動に共鳴**。

大逆事件判決1911 = **27歳** : 結婚。***俳句雑誌{層雲}を創刊して、その運動の一翼を担う。**

明治天皇没・1912 = 28歳 : **句集「自然の扉」を刊行**,

大正政変・1913 = 29歳 : **{層雲}に発表した評論「昇る日を待つ間」などで、新傾向から自由律への展開を示唆、碧梧桐らと分かれ、感動を自由なリズムで書きとめる自由律俳句のリーダーとなる。この年、種田山頭火が{層雲}に参加**,

民本主義・1916 = 32歳 : この年、1年後輩の**尾崎放哉が{層雲}に参加**。

とともに、実際に会うことは無かったが、代表的俳人となって行く。

大暴落・1920 = **36歳** : **句集「湧出もの」。**

原敬首相暗殺1921 = 37歳 :

水平社結成・1922 = 38歳 : ***「新俳句提唱」など"自然・自己・自由の三位一体境"を志向するが**,

関東大震災・1923 = 39歳 : **震災で妻子が死去。母も死去したため、京都に転居して、一人暮らしとなり**,

護憲三派圧勝1924 = 40歳 : 句集「流転しつつ」。

治安維持法・1925 = 41歳 : この年、流浪先を失った尾崎放哉が身を寄せてきたが、彼の希望で小豆島の庵を紹介してやるも、

円本時代始・1926 = 42歳 : この年、**尾崎放哉が死去**。

世界恐慌・1929 = **45歳** : 再婚。

海軍軍縮条約1930 = 46歳 : 長男が誕生。

満州事変・1931 = 47歳 :

国際連盟脱退1933 = 49歳 : **自由律への批判を受けていた河東碧梧桐が引退を表明**,

芥川直木賞始1935 = 51歳 : 句集「無所在」。

日中戦争始・1937 = 53歳 : アメリカを旅行。

健保+総動員 1938 = **54歳** :

大政翼賛会・1940 = 56歳 : この年、**種田山頭火も死去した上、この年から始まる新興俳句弾圧事件に止めを刺される**。

日米開戦・1941 = 57歳 :

文学報国会理事。

年金+総武装 1944 = 60歳 : 同常務理事。

敗戦・1945 = 61歳 :

新憲法公布・1946 = 62歳 : 句集「金砂子」。

新憲法施行・1947 = **63歳** :

独立回復・1951 = 67歳 : この頃、いくつかの小学校校歌を作詩。作曲は団伊玖磨。

55年体制始・1955 = 71歳 : 昭和女子大学教授。

国連加盟・1956 = **72歳** :

安保闘争・1960 = 76歳 : 句集「原泉」,

評論や随筆にも旺盛な筆力を発揮し,

東京リボルヴ 1964 = 80歳 : 句集「長流」。

大学紛争始・1965 = **81歳** : **日本芸術院会員となって**,

ドクショク・1971 = 87歳 : 句集「大江」,

田中角栄逮捕1976 = 92歳 : **没した**。

「この人どんな人」,「没年日本史人物事典」,平凡社百科事典,インターネットWikipedia,